

墨田区梅若橋コミュニティ会館の指定管理者の指定について

1 施設の名称

墨田区梅若橋コミュニティ会館（墨田区堤通二丁目 9 番 1 号）

2 指定の期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 1 3 年 3 月 3 1 日まで（5 年間）

3 指定管理者とする団体

(1) 名称

梅若橋あすのすみだ

(2) 所在地

東京都文京区大塚三丁目 1 番 1 号

(3) 代表者氏名

株式会社図書館流通センター 代表取締役 谷一 文子

(4) 共同事業体の構成団体

ア 名称 株式会社図書館流通センター

所在地 東京都文京区大塚三丁目 1 番 1 号

代表者 代表取締役 谷一 文子

イ 名称 株式会社小学館集英社プロダクション

所在地 東京都千代田区神田神保町二丁目 3 0 番地

代表者 代表取締役社長 松井 聡

ウ 名称 鹿島建物総合管理株式会社

所在地 東京都中央区銀座六丁目 1 7 番 1 号

代表者 代表取締役社長 山本 和雄

(5) 沿革

ア 株式会社図書館流通センター

昭和 5 4 年 1 2 月 法人設立

イ 株式会社小学館集英社プロダクション

昭和 4 2 年 6 月 法人設立

ウ 鹿島建物総合管理株式会社

昭和 6 0 年 1 2 月 法人設立

(6) 同種事業の実績（自治体からの受託運営等）

ア 本区での実績

平成 2 8 年度～ 墨田区梅若橋コミュニティ会館指定管理者（共同事業体）

平成 2 9 年度～ 緑図書館・立花図書館・八広図書館指定管理者（代表企業）

イ 他自治体での実績

代表企業において、台東区立中央図書館、江東区立城東図書館等、全国 5 9 8 館の指定管理者、委託、PFI 等としての実績を有する。

4 選定経過及び選定理由

(1) 募集内容

ア 募集期間 令和 7 年 7 月 1 1 日から令和 7 年 8 月 1 5 日まで

イ 周知方法 区のお知らせ及び区ウェブサイトへの掲載

ウ 申請者数 1 者

(2) 選定経過

墨田区指定管理者選定委員会において、主管部検討部会（外部委員を含む。）での審査を経た団体について、申請書類等に基づき、評価項目である①利用者サービスの向上、②効率的・効果的な施設の運営、③事業計画の遂行能力の 3 項目に関する

審査を行った。

(3) 選定理由

審査の結果、選定団体は、評価項目の評価の合計点が設定した水準を超えたことから、墨田区梅若橋コミュニティ会館の設置目的を効果的・効率的に実現することが期待できるため選定した。

5 事業計画の要点

(1) 管理運営の方針

「みんなが『知り』『つながり』『行動する』拠点へ」とする基本方針に基づき、各機能の専門性を持つ企業・団体が一体的な組織として運営する。

(2) 主な提案内容

ア 利用者サービスの向上に関する提案

① 児童室事業

- ・小学生の利用者を集めた「うめコミキッズ会議」を開催し、こども自身がイベントを発案し、企画・運営を職員と一緒に行う。
- ・長期休みや定期テスト期間、受験シーズンを中心に、多目的室を学習スペースとして開放する。
- ・先輩保護者と後輩保護者との交流や情報交換を目的としたパパ・ママカフェを開催する。

② 図書室事業

- ・利用者に幅広く資料を手にとってもらえるよう、特集コーナーや時事コーナー等を展開する。
- ・利用者から募集したおすすめ本を展示するなど、利用者参加型展示を実施する。

③ コミュニティ事業

- ・近隣の病院やうめわか高齢者支援総合センターと連携し、高齢者を対象とした健康セミナーを開催する。
- ・本区周辺区を拠点としている落語家や講談師を招いた「うめわか寄席」を開催する。

イ 効率的・効果的な施設の運営に関する提案

① 指定管理料（提案額）：146,746,150円

② 代表企業のスケールメリットを活かして、人事労務管理・機器のリースや用品購入等、各種調達を効率的に行う。

③ 和菓子教室や食育講座、着付け講座等区内企業と連携したイベントを実施する。

④ 既存のパンフレットを刷新し、英語や中国語等の外国語に対応したパンフレットを作成する。

ウ 事業計画の遂行能力に関する提案

① こども・子育て関連施設あるいは図書館業務において十分な勤務実績のある職員を配置する。

② 代表企業による全国の受託館での危機管理事例や対処方法を共有する。

③ 児童室においては「安全危機対応マニュアル」に基づき、怪我人や急病人の応急処置方法について定期的な訓練及び研修を実施する。

審査結果

12名の委員が評価し、その合計点により審査を行った。

評価項目（配点）	得点
	梅若橋あすのすみだ
1 利用者サービスの向上（48点×12人＝576点）	402点
(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか (6点×12人＝72点)	47点
(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか (28点×12人＝336点)	242点
(a) 児童室事業において、乳幼児・小学生・中学生・高校生等の年齢層等の さまざまな利用者に合わせた事業提案となっているか (8点×12人＝96点)	(71点)
(b) 地域子育て支援事業等において、適切な事業提案がなされているか (4点×12人＝48点)	(38点)
(c) 図書室事業について、事業提案の内容が充実しているか (8点×12人＝96点)	(67点)
(d) コミュニティ事業について、適切な事業提案がなされているか (8点×12人＝96点)	(66点)
(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能か (8点×12人＝96点)	66点
(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか (6点×12人＝72点)	47点
2 効率的・効果的な施設の運営（28点×12人＝336点）	230点
(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか (4点×12人＝48点)	35点
(2) 施設の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか (6点×12人＝72点)	46点
(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか (8点×12人＝96点)	65点
(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか (4点×12人＝48点)	34点
(5) 利用者の増加策や施設稼働率（利用率）向上への取組は効果的か (6点×12人＝72点)	50点
3 事業計画の遂行能力（24点×12人＝288点）	205点
(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか (4点×12人＝48点)	37点
(2) 職員構成、職員数及び組織の管理・運営体制は適切か (8点×12人＝96点)	64点
(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向 けた取組は十分か (4点×12人＝48点)	34点
(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか (2点×12人＝24点)	17点
(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か (2点×12人＝24点)	20点
(6) 同種事業に関する本区での実績の有無、他の自治体での実績の有無 (4点×12人＝48点)	33点
合計（100点×12人＝1200点）	837点

墨田区梅若橋コミュニティ会館指定管理者 申請者提案概要

項目	梅若橋あすのすみだ
1 利用者サービスの向上	
(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を対象とした、デジタル格差解消に向けた講座を実施する。 ・利用者の情報格差が生じないよう、イベントや行事の開催情報等は多様な媒体（ホームページ・SNS・紙媒体等）を活用して情報を発信する。
(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか	
(a) 児童室事業において、乳幼児・小学生・中学生・高校生等の年齢層等のさまざまな利用者に合わせた事業提案となっているか	<p>【乳幼児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業や食育事業等に取り組む企業や団体、専門家と連携した講座を実施する。 ・オンライン講座の実施等、共働き家庭等でも参加しやすい工夫をする。 <p>【小学生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の利用者を集めた「うめコミキッズ会議」を開催し、こども自身がイベントを立案し、企画・運営を職員と一緒にやる。 ・構成企業が運営している他自治体の施設と連携し、施設対抗のオンラインイベントを開催する。 <p>【中高生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休みや定期テスト期間、受験シーズンを中心に、多目的室を学習スペースとして開放する。 ・中高生自身が「やりたい」遊びやイベントについて話し合う、「うめコミーティング（仮称）」を開催する。
(b) 地域子育て支援事業等において、適切な事業提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩保護者と後輩保護者との交流や情報交換を目的としたパパ・ママカフェを開催する。 ・子育てに関することや地域の情報等を利用者に記載してもらい、施設の掲示板で公開する。 ・保護者が気軽に不安を相談できるよう、乳幼児室に相談シートを設置する。
(c) 図書室事業について、事業提案の内容が充実しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の利用が多いことから、職員向けに後期高齢者疑似体験研修を実施し、レイアウトや接遇の改善に活かす。 ・全国の受託図書館と連携したレファレンス回答のためのプラットフォームを活用し、レファレンスサービスの充実を図る。 ・利用者に幅広く資料を手にとってもらえるよう、特集コーナーや時事コーナー等を展開する。 ・外国語でのおはなし会の実施や調べる学習コーナーの開設等、児童サービスを充実する。 ・利用者から募集したおすすめ本を展示するなど、利用者参加型展示を実施する。
(d) コミュニティ事業について、適切な事業提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル団体の活動成果を披露する場として、舞台発表や展示等を行う「うめわか文化祭」を継続実施する。 ・近隣の病院やうめわか高齢者支援総合センターと連携し、高齢者を対象とした健康セミナーを開催する。 ・墨田区や周辺区を拠点としている落語家や講師を招いた「うめわか寄席」を開催する。
(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能か	<ul style="list-style-type: none"> ・出版社と連携した展示や区内の他図書館と連携した展示を行う。 ・電子図書館の利用方法を説明する体験会を実施する。 ・書籍除菌機の機器を入れ替え、継続設置する。
(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱の設置やイベント参加者へのアンケート等から、利用者の声を収集する。 ・利用者とのコミュニケーションを通じて意見や要望を把握し、改善に向けた

項目	梅若橋あすのすみだ
	<p>取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室の特集展示等の意見聴取にあたり、気軽に意見を発信できるよう、シール投票等を実施する。
2 効率的・効果的な施設の運営	
(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか	「みんなが『知り』『つながり』『行動する』拠点へ」という基本方針に基づき、各機能の専門性を持つ企業・団体が一体的な組織として運営する。
(2) 施設の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフのマルチスキル化により日常業務の効率化を図る。 ・代表企業のスケールメリットを活かして、人事労務管理・機器のリースや用品購入等、各種調達を行う。
(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料（提案額）：146,746,150円
(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> ・和菓子教室や食育講座、着付け講座等区内企業と連携したイベントを実施する。 ・施設の維持管理や修繕工事については区内企業を優先し、地域に密着した運営を図る。
(5) 利用者の増加策や施設稼働率（利用率）向上への取組は効果的か	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のパンフレットを刷新し、英語や中国語等の外国語に対応したパンフレットを作成する。 ・デジタルとアナログ双方を活用し、世代に合わせた情報提供を行う。 ・乳幼児事業・小学生事業・コミュニティ事業・図書室事業を一括で掲載した広報紙を作成し、近隣の教育機関や町会へ配布する。
3 事業計画の遂行能力	
(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか	<p>【株式会社図書館流通センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上 令和5年：10,145,487千円、令和6年：10,054,723千円 ・営業利益 令和5年：2,321,580千円、令和6年：2,031,712千円 ・経常利益 令和5年：2,637,740千円、令和6年：2,265,402千円 ・流動比率 令和5年：188.3%、令和6年：194.3% ・固定長期適合率 令和5年：65.4%、令和6年：63.6% ・自己資本比率 令和5年：66.2%、令和6年：67.5% <p>【株式会社小学館集英社プロダクション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上 令和5年：37,449,466千円、令和6年：39,411,515千円 ・営業利益 令和5年：2,291,571千円、令和6年：3,264,353千円 ・経常利益 令和5年：2,905,966千円、令和6年：3,585,098千円 ・流動比率 令和5年：204.6%、令和6年：243.1% ・固定長期適合率 令和5年：36.6%、令和6年：33.0% ・自己資本比率 令和5年：61.2%、令和6年：67.3% <p>【鹿島建物総合管理株式会社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上 令和5年：71,391,985千円、令和6年：76,994,304千円 ・営業利益 令和5年：2,277,480千円、令和6年：2,366,497千円 ・経常利益 令和5年：2,392,246千円、令和6年：2,540,798千円 ・流動比率 令和5年：213.4%、令和6年：221.8% ・固定長期適合率 令和5年：25.5%、令和6年：24.7% ・自己資本比率 令和5年：46.0%、令和6年：47.5%
(2) 職員構成、職員数及び組織の管理・運営体制は適切か	<ul style="list-style-type: none"> ・統括責任者：1名 ・児童室：14名（常勤職員7名 非常勤職員7名） ・図書室：12名（常勤職員8名 非常勤職員4名）

項目	梅若橋あすのすみだ
(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か	<ul style="list-style-type: none"> ・統括責任者は現任者を継続して配置する。 ・こども・子育て関連施設あるいは図書館業務において十分な勤務実績のある職員を配置する。 ・認知症の方や家族が安心して施設を利用できるよう、認知症サポーター養成講座を受講する。
(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護研修や、個人情報保護に関する内部監査を実施する。 ・情報公開には、墨田区情報公開条例等に基づいて対応し、開かれた施設運営を推進する。
(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か	<ul style="list-style-type: none"> ・代表企業による全国の受託図書館での危機管理事例や対処方法を共有する。 ・児童室においては「安全危機対応マニュアル」に基づき、怪我人や急病人の応急処置方法について定期的な訓練及び研修を実施する。 ・苦情対応フローの活用や再発防止の体制を整え、トラブルの未然防止に努める。
(6) 同種事業に関する本区での実績の有無、他の自治体での実績の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社図書館流通センター（代表企業）：緑図書館・立花図書館・八広図書館の指定管理者等、全国602施設の実績 ・株式会社小学館集英社プロダクション（構成企業）：八広児童館の指定管理者等、全国46施設の実績 ・鹿島建物総合管理株式会社（構成企業）：江戸東京博物館の業務委託等、全国70施設の実績